

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 アイホン株式会社
 コード番号 6718 URL <https://www.aiphone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 富雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画部次長 (氏名) 伊藤 和也 TEL 052-228-8181
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東 名

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	14,332	△9.8	192	△87.9	268	△85.4	214	△83.7
2025年3月期第1四半期	15,887	13.3	1,599	7.9	1,837	0.4	1,317	△12.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 253百万円 (△90.1%) 2025年3月期第1四半期 2,568百万円 (△16.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13.10	-
2025年3月期第1四半期	80.48	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	75,213	65,707	87.4
2025年3月期	77,037	66,763	86.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 65,707百万円 2025年3月期 66,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	50.00	-	80.00	130.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	50.00	-	80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,400	△1.9	1,100	△48.0	1,300	△37.2	900	△46.9	54.99
通期	65,400	3.3	4,500	18.0	5,000	20.1	3,700	2.2	226.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	18,220,000株	2025年3月期	18,220,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,853,891株	2025年3月期	1,853,891株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	16,366,109株	2025年3月期1Q	16,364,780株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における世界経済は、米国の関税政策による景気の減速懸念に加え、地政学リスクの継続もあり、不透明な状況が続きました。こうした中、わが国の経済は、物価上昇が継続し個人消費は伸び悩みました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高143億3千2百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は1億9千2百万円（同87.9%減）、経常利益は2億6千8百万円（同85.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1千4百万円（同83.7%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	会社名
日本	アイホン株式会社
北米	アイホンコーポレーション
欧州	アイホンS.A.S.、アイホンUK
タイ	アイホンコミュニケーションズ（タイランド）
ベトナム	アイホンコミュニケーションズ（ベトナム）
その他	アイホンPTY、アイホンPTE.

セグメントの名称	売上高（億円）			営業利益又は損失（△）（億円）		
	第1四半期連結累計期間		増減率 （%）	第1四半期連結累計期間		増減率 （%）
	2025年 3月期	2026年 3月期		2025年 3月期	2026年 3月期	
日本	138.0	123.2	△10.7	14.2	△2.0	－
北米	34.9	24.8	△28.9	△1.6	0.7	－
欧州	12.0	10.6	△11.4	0.0	0.1	31.2
タイ	22.5	30.2	34.5	1.3	△0.3	－
ベトナム	17.3	16.5	△4.7	1.0	0.7	△30.1
その他	4.2	3.3	△20.3	0.1	△0.0	－
小計	229.1	208.9	△8.8	15.2	△0.8	－
セグメント間消去 又は調整	△70.2	△65.6	－	0.7	2.7	－
連結	158.8	143.3	△9.8	15.9	1.9	△87.9

(日本セグメント)

売上高は123億2千4百万円（前年同期比10.7%減）となりました。営業損失は売上高の減少等により2億円（前年同期は営業利益14億2千3百万円）となりました。

【戸建住宅市場】

売上高は12億5千3百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

新築では、当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期から増加したことに加え、主力商品の価格改定に伴う駆け込み需要も追い風となり、売上は大幅に増加いたしました。

リニューアルでは、防犯意識の高まりを背景に主力のワイヤレステレビドアホンを中心に販売が好調に推移し、売上は大幅に増加いたしました。

【集合住宅市場】

売上高は、74億3千7百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

新築では、当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が増加傾向にある賃貸マンションを中心に主力商品の販売が好調に推移しましたが、高価格帯の商品の販売が減少し、売上は減少いたしました。

リニューアルでは、セキュリティニーズが高水準を維持していることに加え、分譲マンションや賃貸マンションへの積極的な受注活動を推進しましたが、一部商品納入に遅延があり、売上は減少いたしました。

【ケア市場】

売上高は、11億3千4百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

新築では、病院や高齢者施設・高齢者住宅に対する効率的な事業運営に向けたソリューション提案を継続しているものの、新築着工数の減少が影響し、売上は大幅に減少いたしました。

リニューアルでは、需要の多い高齢者への医療・介護を中心に補助金活用によるテクノロジー導入支援の追い風が続く中、ナースコールをコアとする見守り支援等のソリューション提案を積極的に進めているものの、高単価の物件販売数が減少し、売上は大幅に減少いたしました。

【業務市場】

売上高は、5億5千7百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

セキュリティニーズが高水準を維持していることに加え、文教施設やホテル等における連絡用設備の受注が拡大し、売上は増加いたしました。

(北米セグメント)

売上高は、24億8千2百万円（前年同期比28.9%減）となりました。営業利益は売上高が減少したもののグループ会社からの仕入れ価格見直しの影響等により7千5百万円（前年同期は営業損失1億6千1百万円）となりました。

前年同期にあったバックオーダー解消に伴う売上増加がなく、関税を中心に米国経済が不透明な中、販売代理店の在庫調整により当社製品の購入が控えられ、現地通貨ベースの売上は減少いたしました。

(欧州セグメント)

売上高は、10億6千8百万円（前年同期比11.4%減）となりました。営業利益は売上高の減少等により1千1百万円（同31.2%減）となりました。

欧州経済が停滞する中、一部商品の販売終了に伴い、学校向け案件での採用が控えられ、現地通貨ベースの売上は大幅に減少いたしました。

(タイセグメント)

生産拠点として、売上高は30億2千7百万円（前年同期比34.5%増）となりました。営業損失は、グループ会社への販売価格見直しの影響等もあり3千5百万円（前年同期は営業利益1億3千1百万円）となりました。

主な要因は、商品の安定供給及び部品在庫の適正化に向けて計画的に生産しており、生産量が前年同期を上回ったことから、売上は大幅に増加いたしました。

(ベトナムセグメント)

生産拠点として、売上高は16億5千3百万円（前年同期比4.7%減）となりました。営業利益は、グループ会社への販売価格見直しの影響等もあり7千6百万円（同30.1%減）となりました。

商品の安定供給に向けて生産量が前年同期を上回ったことから、現地通貨ベースの売上は増加いたしました。しかしながら、為替の影響により円貨ベースの売上は減少いたしました。

(その他)

売上高は3億3千9百万円（前年同期比20.3%減）となりました。営業損失は、原価率悪化等もあり9百万円（前年同期は営業利益1千5百万円）となりました。

【オセアニア】

売上高は、2億1千6百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

主要国オーストラリアの政府案件や公的機関向けの案件を中心に、IPネットワーク対応インターホンシステムの積極的な受注活動により業務市場は好調に推移し、現地通貨ベースの売上は増加いたしました。しかしながら、為替の影響により円貨ベースの売上は減少いたしました。

【東南アジア】

売上高は、1億2千3百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

インドネシアを中心にケア市場の販売が低調に推移したことにより、売上は大幅に減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は752億1千3百万円（前連結会計年度末770億3千7百万円）となり18億2千4百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が4億6千2百万円減少、売上債権が17億8千8百万円減少したことによるものです。

負債は95億6百万円（前連結会計年度末102億7千4百万円）となり7億6千8百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が2億2千5百万円減少、未払費用が9億8千1百万円減少したことによるものです。

純資産は657億7百万円（前連結会計年度末667億6千3百万円）となり10億5千5百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当により13億9百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年5月8日付決算短信で公表いたしました内容に変更はありません。

今後、新たに業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,229	24,766
受取手形、売掛金及び契約資産	10,591	8,915
電子記録債権	2,897	2,783
有価証券	299	398
製品	5,449	6,519
仕掛品	3,080	2,790
原材料	8,036	7,849
その他	829	785
貸倒引当金	△79	△62
流動資産合計	56,333	54,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,054	7,071
減価償却累計額	△5,213	△5,237
建物及び構築物(純額)	1,841	1,833
機械装置及び運搬具	3,704	3,682
減価償却累計額	△2,701	△2,734
機械装置及び運搬具(純額)	1,002	948
工具、器具及び備品	8,647	8,747
減価償却累計額	△7,992	△8,074
工具、器具及び備品(純額)	654	672
土地	4,175	4,172
リース資産	844	901
減価償却累計額	△426	△477
リース資産(純額)	417	424
建設仮勘定	139	86
有形固定資産合計	8,231	8,137
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	9,059	9,056
繰延税金資産	1,879	1,783
退職給付に係る資産	646	645
その他	888	843
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,472	12,327
固定資産合計	20,704	20,465
資産合計	77,037	75,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	418	480
買掛金	2,186	2,191
リース債務	170	192
未払法人税等	289	63
契約負債	363	418
製品保証引当金	162	157
賞与引当金	—	647
その他	5,273	3,946
流動負債合計	8,863	8,097
固定負債		
リース債務	243	223
再評価に係る繰延税金負債	121	121
退職給付に係る負債	479	499
その他	565	563
固定負債合計	1,410	1,408
負債合計	10,274	9,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,432	5,432
利益剰余金	50,503	49,408
自己株式	△3,164	△3,164
株主資本合計	58,160	57,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,023	3,226
土地再評価差額金	△429	△429
為替換算調整勘定	5,471	5,338
退職給付に係る調整累計額	537	506
その他の包括利益累計額合計	8,602	8,641
純資産合計	66,763	65,707
負債純資産合計	77,037	75,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,887	14,332
売上原価	8,825	8,197
売上総利益	7,061	6,134
販売費及び一般管理費	5,462	5,942
営業利益	1,599	192
営業外収益		
受取利息	35	25
受取配当金	116	128
受取家賃	6	5
為替差益	79	—
その他	9	10
営業外収益合計	247	170
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	—	88
その他	6	3
営業外費用合計	9	94
経常利益	1,837	268
特別利益		
固定資産売却益	0	6
減損損失戻入益	—	14
特別利益合計	0	20
特別損失		
固定資産売却損	0	12
固定資産除却損	5	0
減損損失	—	2
特別損失合計	5	15
税金等調整前四半期純利益	1,832	273
法人税等	515	58
四半期純利益	1,317	214
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,317	214

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,317	214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	203
為替換算調整勘定	1,197	△132
退職給付に係る調整額	△4	△31
その他の包括利益合計	1,251	39
四半期包括利益	2,568	253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,568	253

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	259百万円	292百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,783	3,475	1,202	—	—	15,461	425	15,887	—	15,887
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,020	14	3	2,251	1,734	7,024	0	7,024	△7,024	—
計	13,803	3,490	1,205	2,251	1,734	22,485	426	22,911	△7,024	15,887
セグメント利益 又は損失(△)	1,423	△161	8	131	109	1,512	15	1,527	71	1,599

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,507	2,416	1,068	—	—	13,992	339	14,332	—	14,332
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,817	65	—	3,027	1,653	6,564	—	6,564	△6,564	—
計	12,324	2,482	1,068	3,027	1,653	20,556	339	20,896	△6,564	14,332
セグメント利益 又は損失(△)	△200	75	11	△35	76	△72	△9	△82	274	192

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2百万円計上しております。